

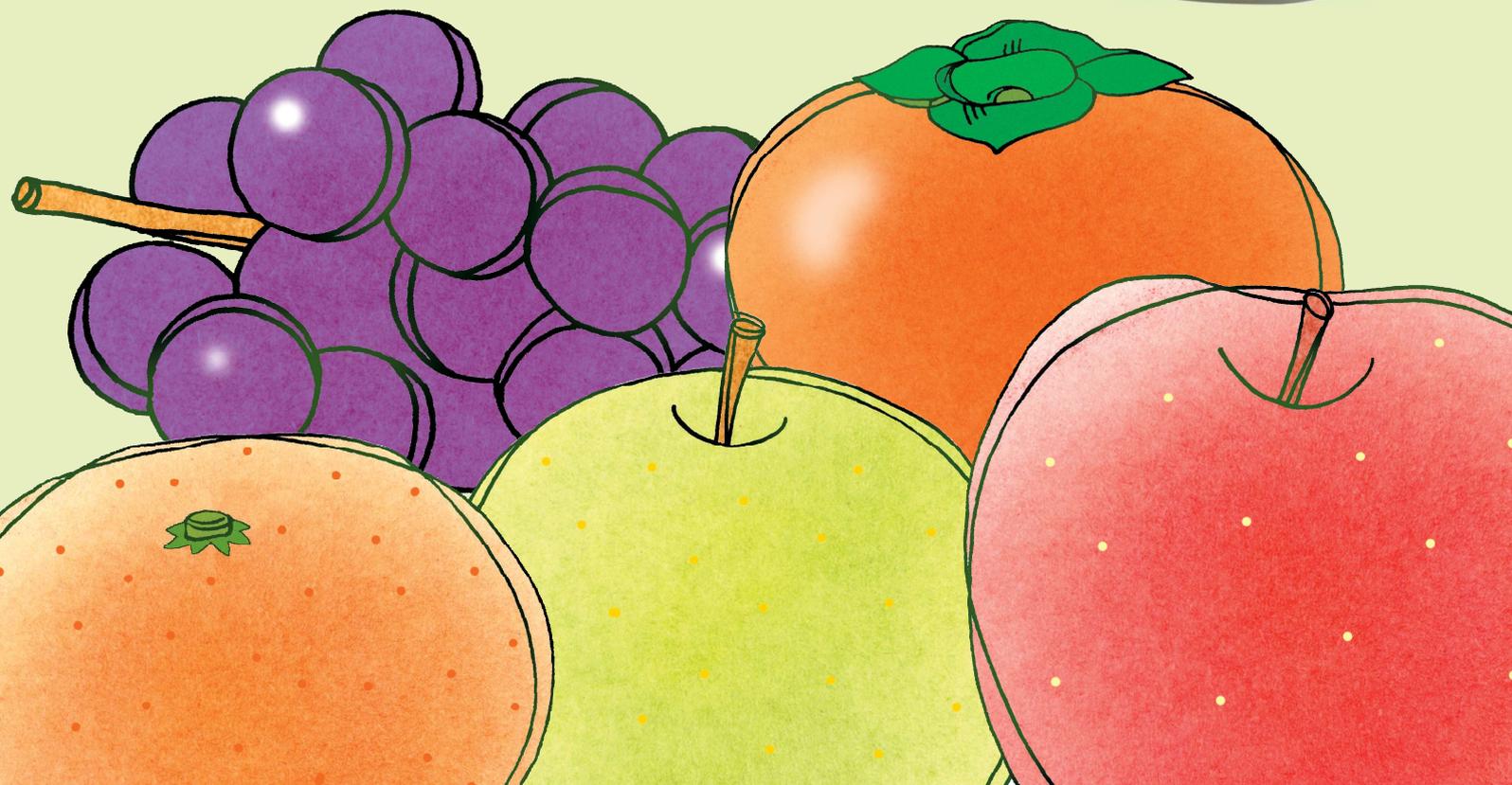
果樹の病気の基幹剤

農林水産省登録
第17831号

キノンドー[®]フロアブル

特長

- 発生前から発生初期の散布で、広範囲の病害を予防します。
- 耐性菌が生じにくい薬剤です
- 薬害の心配が少なく、ボルドー液や無機銅の使えない時期にも使用できます。
- 作物上の汚れが目立ちにくく、クリーンに仕上がります。



アグロ カネショウ株式会社

®はアグロカネショウ(株)の登録商標

詳しい製品情報はHPからご確認いただけます。



★適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数		
なし	黒斑病 紋星病 黒褐色斑点病	1000倍	200~700ℓ/10a	収穫21日前まで	9回以内	散布	12回以内 (塗布は3回以内、 散布は9回以内)		
みかん	そうか病 黒点病	600~800倍		収穫30日前まで	5回以内		5回以内		
ぶどう	枝黒べ 膨とうと	600倍		収穫45日前まで	4回以内 (開花後は1回)		7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内 (但し、開花後は1回以内))		
かき	落葉病 うどんこ病	800~1000倍		収穫14日前まで	5回以内		8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)		
りんご	斑点落葉病 黒星斑病 黒褐色すす紋病 すす紋病				4回以内			7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)	
いちじく	そうか病	600倍		収穫60日前まで	3回以内		3回以内		
おうとう	褐色せん孔病	700倍		収穫終了後～ 落葉期まで			6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)		
いちご	炭疽病	100倍		5ml/株	育苗期		3回以内	クラウン部 散布	3回以内
		500~800倍							
メロン	斑点細菌病	1000倍		収穫10日前まで	5回以内		5回以内		
キャベツ	黒腐病	800~1000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内				
はくさい	軟腐病	1000倍	収穫30日前まで	5回以内	散布	5回以内			
レタス	軟腐病 斑点細菌病	800~1000倍	収穫21日前まで						
非結球レタス	腐敗病		収穫30日前まで						
すいか	果実汚斑細菌病 炭疽病	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	5回以内			
きゅうり	べと病 炭疽病 斑点細菌病	1200倍 1200~1500倍							
アスパラガス	茎べと病 枯病	600~800倍	収穫3日前まで	4回以内	葉柄基部散布				
にんじん	黒葉枯病	500倍							
シクラメン	炭疽病 葉腐細菌病	5倍	2~5ml/株	発病初期	5回以内	散布			
あじさい	斑点細菌病	500倍	100~700ℓ/10a						

令和8年3月18日現在

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 使用前に容器をよくふって薬剤を均一にしてください。
- 石灰硫黄合剤、水和硫黄剤等との混用はさけてください。
- 本剤は病害の多発時の使用では効果が劣る場合があるので病害の発生が多くなるうちに発生初期から1~2週間おきに予防的に散布してください。
- 本剤をりんごの病害防除に使用する場合は、サビ果の発生を多くすることがあるので、落花直後から落花20日頃までの使用はさけてください。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意してください。特にゴールドデン及びゴールデンからの育成品種では注意してください。
- キャベツの黒腐病、はくさいの軟腐病、レタスの軟腐病・斑点細菌病・腐敗病、きゅうり・メロンの斑点細菌病などの細菌性病害防除に使用する場合は、発病後の散布では効果が劣るので発病前~発病初期から予防的に散布してください。
- ぶどうのべと病に対しては、多発時には効果が不十分な場合もあるので、なるべく発生初期に予防的に散布してください。なお、ぶどうでは果実肥大期（あずき粒大）以降の散布は、サビ果や果房の汚れを生じるおそれがあるので、無袋栽培ではこの時期以降の散布はさけてください。
- かきに使用する場合は、果実に薬害を生じるおそれがあるので、着色期以降の散布はさけてください。
- シクラメンの葉腐細菌病に使用する場合は、葉柄基部に散布してください。また、薬液による汚れが生じるので、葉及び花弁にかからないように注意してください。
- 炭疽病に使用する場合は、薬液全面散布によって葉及び花弁に汚れを生じる場合があるので、出荷直前の散布をさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに洗眼をしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 魚毒性…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓及び密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管してください。

● 使用前にラベルをよく読む ● ラベルの記載以外には使用しない ● 小児の手の届く所には置かない